



## デジタルヒューマン技術協議会

### 2021年度 第5回協議会

【日時】2021年12月16日（木）10:30から15:35

【場所】Webexによるオンライン開催

#### 【内容】

- ・ 10:30 - 12:00: DhaibaWorks 講習会
  - 演者: 多田 充徳、遠藤 維、丸山 翼  
(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)
  
- ・ 12:00 - 13:00: 休憩
  
- ・ 13:00 - 14:30: 招待講演
  - 演者: 中村 豪様 (福祉のまちづくり研究所)
  - 演題: 臨床・介護現場におけるデジタルヒューマン技術の活用
  - 概要: 福祉のまちづくり研究所ロボットリハビリテーションセンターでは、リハビリ病院と研究所が一体となった医工連携の仕組みを活かして、デジタルヒューマンモデル技術を医療・介護現場で実用化することを目指した研究開発に取り組んでいます。  
医療・介護現場のニーズに即したデジタルヒューマンモデル技術の事例として、高齢者の介護予防のための健康評価装置や日常生活の様々な場面において、ユーザーに負担をかけることなく身体動作を計測するための取り組みなどについて紹介します。  
本講演では、特に医工連携する中で見えてきた課題や開発を進める上でのポイントについてご紹介します。
  
- ・ 14:30 - 14:50: 研究発表
  - 演者: 井原 拓哉先生 (東京医科歯科大学)
  - 演題: 整形外科領域における動作解析を中心とした病態の検知・解明に関する研究展開
  - 概要: 当講座では、整形外科領域における疾患の障害メカニズムの解明と有効な予防策などの医学的研究を行っています。特に手根管症候群や頸髄症性脊髄症、変形性股関節症などの退行変性疾患は、



## デジタルヒューマン技術協議会

加齢と共に病状が悪化していくため、早期に疾患の発症を検知し、必要な治療介入を講じていく必要があります。また、高齢者における転倒は、骨折を惹起し、その後の生活の質を著しく下げることから、転倒に先んじて生じる身体機能の変化を検知し、転倒予防策を講じていく必要があります。本発表では、当講座における上記取り組みの一部を紹介します。

- ・ 14:50 - 15:10: 研究発表
  - 演者: 福井 航様 (兵庫県立工業技術センター)
  - 演題: 兵庫県立工業技術センターの研究紹介
  - 概要: 兵庫県立工業技術センターは、中小企業を支えるものづくり技術支援機関です。今回は、実際にあった技術相談の中から手押しカート開発における台の高さ設計を例に、工業技術センターで進めている研究内容をご紹介します。
  
- ・ 15:10 - 15:20: 休憩
  
- ・ 15:20 - 15:35: 運営委員会

**Webex へ入る際は「所属・名前」の設定をお願いします**

**総会で議決権を有するのは法人会員のみです**

**運営委員会に参加できるのは法人会員のみです**